

[令和5年度事務事業]

Ⅱ．事業目的の達成状況							
事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	堺市ユースサポートセンターでの新規及び継続相談者数	人		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値	830	991	1,020	1,020
			実績値	963	991		
			達成率	116%	100%		
当該指標を選定した理由		困難を抱える子ども・若者やその保護者等からの相談がその後の支援、また、解決につながるきっかけとなるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		前年度比＋3%を目標値とする。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	堺市ユースサポートセンターによるイベント参加者数	人		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	270	270	270	
			実績値	294	273		
			達成率	109%	101%		
当該指標を選定した理由		イベントの実施及び会場でのPRが、相談につながるきっかけとなるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		これまでの実績に基づき、開催方法により算出している。					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	子ども・若者育成支援推進事業	事業番号	014-040
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費（a）	25,947	25,977	32,892	35,395	35,375
13	財 源					
	国支出金	11,475	10,004	13,170	13,981	13,356
	府支出金			0		0
	市債			0		0
	その他（ ）			3,600	3,600	900
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源	14,472	15,973	16,122	17,814	21,119
14	人件費（b）	6,880	6,880	6,840	6,840	7,040
15	年間経費(c)=(a)+(b)	32,827	32,857	39,732	42,235	42,415

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
16	事業費内訳	ユースサポートセンター運営及び子ども・若者支援地域協議会運営委託料	R5 決算	29,649	12,068		R5 決算			
			R6 予算	29,579	15,323		R6 予算			
		堺市青少年非行防止対策補助金	R5 決算	73	73		R5 決算			
			R6 予算	73	73		R6 予算			
		会計年度任用職員報酬	R5 決算	4,765	4,765		R5 決算			
			R6 予算	4,422	4,422		R6 予算			
		通勤費	R5 決算	335	335		R5 決算			
			R6 予算	398	398		R6 予算			
		期末勤勉手当（会計年度任用職員）	R5 決算	573	573		R5 決算			
			R6 予算	903	903		R6 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和4年度	令和5年度
17	① 堺市ユースサポートセンターでの新規及び継続相談者数	人	963	1,191
	② 上記①にかかる年間経費	千円	31,000	40,422
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	32,191	33,940
	備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	困難を抱える子ども・若者への支援は、幼少期から青年期に至るまでそれぞれの課題があり、丁寧に向き合っていく必要がある。また、働くことに不安があったり、自分の適性にあった仕事を見つけたい方など、働くことの悩みや相談についても1人1人に寄り添い対応していくことが求められる。 困難を抱える子ども・若者の相談が継続して行われていることに加え、事業の対象者を拡大したことから、新規および継続相談者数が増加した。単位当たりの経費は増加となったが、丁寧な対応が求められる状況に変わりなく、相談対応の質について担保していく必要がある。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	当該事業は、基本計画における暮らしを支えるセーフティネットの構築におけるひきこもりへの取組について以下の通り寄与している。 困難や課題を抱える子ども・若者に対する相談窓口を通じ、当事者やその家族に対する支援を行っている。当事者が困難や課題を乗り越えて、社会復帰や就職を目指すための職業体験やコミュニケーショントレーニング等の就職準備講座を実施している。 支援者や市民のひきこもりに対する正しい理解や対応を啓発する「ひきこもり支援者講演会」を実施することで、ひきこもり等の困難を抱える子ども・若者が受け入れられ、社会復帰がしやすい環境づくりを提供している。
----	---